

平成 2 1 年度

第 4 回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成 2 1 年 1 2 月 2 5 日 (金) 1 3 : 3 2 ~ 1 5 : 1 5
- 2 場 所 岡山市職員研修所 (ほっとプラザ大供) 3 階 第 3 研修室
- 3 出席者 委員 1 1 名
- 4 傍聴者 報道 2 社
- 5 議 題
 - ・ 発達障害者支援体制整備について
 - ・ 岡山市養護老人ホーム松風園について

6 主要な意見

< 発達障害者支援体制整備について >

- ・ 切れ目のない支援体制やネットワークの構築など、イメージがわきにくい。どのような支援体制をつくり、何をするのかということをしてできるだけ具体的に示してほしい。
- ・ 発達障害については、市民に発達障害者とはどういう人たちなのか、どういう支援が必要なのかということを知りつつ理解してもらわないと、暮らしやすい場、働きやすい場をつくっていくことがなかなか実現しない。大学や社会に出て人間関係がうまくいかないなどの問題に対して、理解や切れ目のない支援に必要なシステムについての議論が必要である。
- ・ 知的障害がない場合、療育手帳の発行もないので、不適應なまま青年期を迎えると、どういう福祉の制度を受けられるかが問題になっている。受けられるサービスやわかりやすい支援のシステム作りが必要である。
- ・ 発達障害者支援センターは二次的な専門相談になる。専門のセンターに相談が集中しないように、一次相談から二次相談への仕組みについて具体的な検討が必要である。気楽に相談できるような一次相談の体制を整備し、有効なサービスにつないだり、相談に対応できるように職員配置を充実させることが大切である。
- ・ 三歳児健診で問診項目を少し精査して、障害がある子どもを早期発見できるようなシステムにしたらどうか。
- ・ 発達障害者支援センターの大きな役割は、地域資源の専門性を高めること。あるいは地域資源が足りないのであればこれを増やしていくことであると思う。

< 岡山市養護老人ホーム松風園について >

民営化に向けたスケジュール等の説明を行い、特に意見はなかった。

なお、次回の部会（1月21日）では、業者選定を行うが、その際、法人情報等が多数含まれていることから、次回部会については非公開とすることを決定した。